平成 30年度（ 29年度決算分） 高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	局名	創造都市推進局
政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化	課（室）名	市場業務課
施策	農林水産業の振興	電話番号	087-862-3411
基本事業	生鮮食料品等流通の強化	事業実施主体	市
事務事業	卸売市場活性化推進事業	事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	「中央卸売市場の活性化に関するマスタープラン（平成２３年３月策定）」に基づき、生鮮食料品等の流通拠点施設としての卸売市場の機能や役割を広く市民に周知して、市民の期待に応えられる活力ある開かれた市場づくりと市場の活性化を図る。
30年度概要	市場フェスタ・市場の特別開放・夏休み市場ＤＥ自由研究

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト		事務事業の類型	②ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	高松市中央卸売市場及び高松市公設花き地方卸売市場の開設区域
意図（どのような状態にしたいか）	本市場が今後も、「安全・安心」で「効率的」な生鮮食料品等の流通拠点として、その機能を十分に発揮できるよう、ソフト面などで活性化に取り組み、一層活気と魅力ある市場づくりを図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
① 中央卸売市場内で実施するイベント数	回		12	12	12	12
②						

【事業の成果】

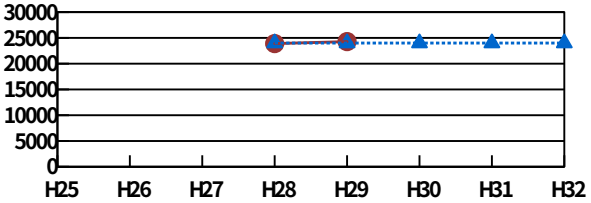
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
市場への一般市民の来場者数	人	目標値		24,000	24,000	24,000	24,000
		実績値		23,894	24,280		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

たかまつ市場フェスタや市場ＤＥ自由研究など市場開放を継続実施し、来場者は年々増加している。

（目標達成度）



（達成度）
101.2%
35点

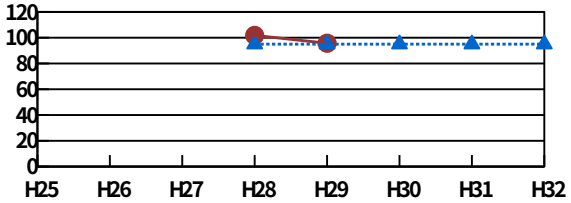
成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
当該年次取扱高を対前年比の９５％以上にする	%	目標値		95	95	95	95
		実績値		101.8	95.7		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

生鮮食料品等の流通の拠点であることを活かし、食文化、食材等の食に関する知識や、花などの生命や自然に関する知識など、食育・花育を実施している団体と連携している。

（目標達成度）



（達成度）
100.7%
35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（決算）	平成 30年度（予算）
トータルコスト	[千円]	17,568	17,931	17,430	16,953
(事業費)	[千円]	2,214	2,229	2,256	1,779
(職員人件費)	[千円]	15,354	15,702	15,174	15,174

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

市場経由率の低下など、卸売市場を取り巻く環境が年々厳しくなっている中、生鮮食料品等の流通拠点としての卸売市場の機能や役割を広く市民に周知して、市民の期待に応えられる活力ある開かれた市場づくりを図る。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

卸売市場の機能や役割を広く市民に周知して、市民の期待に応えられる魅力のある市場づくりを目指す。

平成30年度（29年度決算分） 高松市事務事業評価表　【事中・事後評価】

総合計画体系		評価担当	
まちづくりの目標	産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち	局名	創造都市推進局
政策	地域を支える産業の振興と経済の活性化	課（室）名	市場業務課
施策	農林水産業の振興	電話番号	087-862-3411
基本事業	生鮮食料品等流通の強化	事業実施主体	市
事務事業	卸売市場整備事業	事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市場の青果棟（昭和５２年竣工）及び水産物棟（昭和５５年竣工）は、いずれも建築後３０年以上経過しており、旧耐震基準の建築物である。 平成２３・２４年度に実施した耐震診断の結果、青果棟は緊急に改修等の措置を講ずる必要がある「Ａ判定」、水産物棟は可及的速やかに改修等の措置を講ずる必要がある「Ｂ判定」であったことから、この結果を踏まえ、コールドチェーン化や省エネルギー化等にも対応した市場施設を整備する。
30年度概要	市場整備 旅費（用地交渉等）、需用費（用地六法購入等） 役務費（移転候補地鑑定） 委託料（土木防災工事設計業務等） 使用料及び賃借料（ＣＡＤシステム）

重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	5-⑮	事務事業の類型	③インフラ・施設等整備

【事業の目的】

対象（何を）	青果棟及び水産物棟等
意図（どのような状態にしたいか）	安全・安心な生鮮食料品等の安定供給を行う流通拠点施設としての卸売市場の機能向上や消費者（市民）から親しまれ、継続的な支持を得られる施設整備を行う。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
① 関係者との協議回数	回		6	28	25	25
②						

【事業の成果】

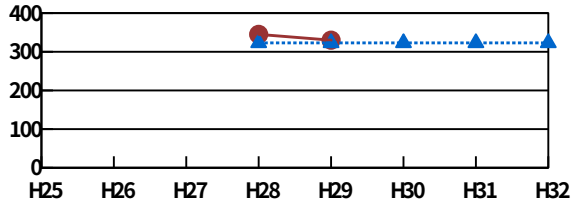
成果指標①

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
卸売市場の取扱金額	億円	目標値		323	323	323	323
		実績値		345	330		

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

卸売市場を取り巻く環境、消費者（市民）の食生活、ライフスタイルの変化を背景とした産地直売所の増加、量販店による産地直接取引の増加等、流通ルートの多様化に伴い、市場経由率の低下等という厳しい状況の中でも、取扱金額の実績値は、目標値を上回って推移しており、今後もこの状況を継続していきたい。

（目標達成度）



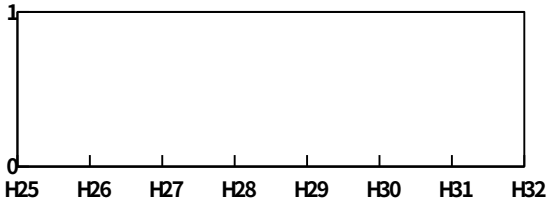
（達成度）
102.2%
35点

成果指標②

成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
		目標値					
		実績値					

成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）

（目標達成度）



（達成度）

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度（決算）	平成28年度（決算）	平成29年度（決算）	平成30年度（予算）
トータルコスト	[千円]	15,129	19,327	53,572	87,418
(事業費)	[千円]	7,452	3,625	30,811	64,657
(職員人件費)	[千円]	7,677	15,702	22,761	22,761

【評価】

評価ランク（Ａ～Ｄ）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	拡充

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

生鮮食料品等の流通拠点として市場の再整備を進めるため、平成２９年度は、当該用地を市場用地として確定するための都市計画決定の手続き、土木防災工事等設計を実施した。
青果棟については平成３５年度、水産物棟については平成３９年度の完成を目指してスピード感をもって事務を進める必要がある。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

引き続き、平成３０年度においても、当該用地の取得交渉、また、市場用地として確定するための都市計画決定の手続き、土木防災工事の実施設計等を進める。